

【市長との地域懇談会 記録】

開催日 平成 28 年 10 月 28 日（金）

地区 二見小学校区

会場 二見老人福祉センター集会室

参加者数 55 人



《質問・意見》

二見小学校の統合について、新校舎をどこに建てるのか決まっているのか。

《回答》【市長】

震災後状況が変わったので現在数字を見直している。場所は決まっていなくてもできれば高台に、具体的に決まれば地域をまわらせてもらいたい。

《質問・意見》

57歳の時にC型肝炎を患い肝臓がんになり、日赤で7時間の手術を行い左の肝臓の一部を取り除いた。手術してから13日間で退院を促されたが、大手術をして、13日で退院では納得できないと交渉した結果、30日間入院させてもらった。今は日赤から来なくてよいといわれ慶友病院へいってくれといわれている。新病院はそんなことのないようにしてもらいたい。最後までみてもらいたい。

《回答》【市長】

日赤の高度急性期は分るが心の回復が大事。心を支えていける病院にしていきたい。一人ひとりの患者に向き合い寄り添っていけるよう取り組んでいきたい。

《質問・意見》

老人福祉のことを聞きたい。民営化について聞きたい。今までどおりでしてほしい。

《回答》【市長】

介護保険制度が確立し、全部が市の役割ではない。現状公と民をみていくと公の施設に空きがある。伊勢地域に障害のある子どもがリハビリをする施設が少ない。国の補助金も少なくなり、新規の施設建設は難しい。旧二見、旧御菌等の公の施設を改修することに方向転換した。二見への説明不足は反省している。現状、障がい者の施設が不足しているのでお願いしたい。

《質問・意見》

施設の職員はどうなるのか。今までどおり働けるのか。

《回答》【市長】

同じように働ければ良いが、指定管理のため補償はできない。最善の努力はするつもりである。

《質問・意見》

まちづくりの会について聞きたい。二見は一生懸命しているが、行政の関わりが希薄ではないか。行政の指導はないのか。知恵をだしてほしい。テレビで成功例をみると大きなテーマで取り組んでいる。防災や祭りはあっても大きなものがない。良いまちにするために行政の指導力を発揮してほしい。何かビックなまちづくりができないのか。

《回答》【市長】

少しペースが落ち、熱意が足りていない部分はあるかも。まちづくりさんの黒子役になっていくよう叱咤激励もしていく。二見は歴史もあり掘り起こしたら良いと思う。整理をし、我々も力を入れていく。

《質問・意見》

行政の協力について聞きたい。9月25日にカエルキャラバンを行い、業者に防災グッズの展示をしてもらったが、物品の販売はまかりならないといわれ、生涯学習センターでの展示は断られ、二見総合支所と相談し苦肉の策で駐車場での展示となった。まちづくりが大きな力を持つには、そういう部分も認めていただきたい。

《回答》【市長】

検討させて頂く、引き続きよろしくお願いしたい。

《質問・意見》

市の施設は老朽化が進んでいる。二見はどうなっているか。

《回答》【市長】

今整理をしている。ダウンサイジングを考えている。これから残していくもの、廃止にするもの、統合していくもの、全て残すとハコモノの維持費だけで、40 億円必要となる。それは大変なので皆さんにお示しをさせていただき、議論していく。